

授業科目 家族介護特論	科目概要・形式 1 単位 15 時間(8 コマ) <input type="checkbox"/> 講義・ <input type="checkbox"/> 演習・ <input type="checkbox"/> 実習	配当年次 博士前期 1 年次 <input type="checkbox"/> 前期・ <input type="checkbox"/> 後期	オンライン参加 <input type="checkbox"/> 可・ <input type="checkbox"/> 不可
科目責任者	児玉 寛子		
担当者	児玉 寛子		
1. 科目のねらい・目標 ねらい：家族介護に関する基礎知識の習得を目指す。 目 標：家族介護の変遷と関連制度の成立背景および家族介護をめぐる今日的課題を学び、そのうえで家族介護を研究する際に参考となる概念やモデルに触れながら家族介護への理解を深める。			
2. 授業計画・内容 1) 家族と介護 「家族機能としての介護（扶養）」から「介護の社会化」へと変化した社会背景等について概説する。 2) 家族介護の変遷 介護保険制度創設前後における家族介護の状況を比較し、影響要因を理解する。 3) 現代の家族介護における課題 多様化する家族介護の実態をサービス提供側、利用者及び家族、社会資源および制度の観点から課題を整理する。 4) 諸外国における介護の現状 諸外国における高齢者介護の状況について主に政策面から理解する。 5) 事例検討①高齢者虐待への対応 高齢者虐待の現状と支援施策を理解し、事例検討をとおして虐待発生メカニズムと支援の実際を学ぶ。 6) 事例検討②家族支援 多様な課題を抱える家族介護の事例検討をとおして家族支援の実際を理解する。 7) 介護をめぐる諸概念 家族支援において伝統的もしくは新規性のあるケアの諸概念を理解する。 8) まとめ 授業での学びに関するプレゼンテーション。			
3. 教科書、参考書			
適宜、指示する。			
4. 成績評価方法 レポート課題（30%）、最終プレゼンテーション（70%）により評価する。			
5. 受講要件 ・社会福祉士の資格を有する者は、認定社会福祉士の読み替え科目となる。			
6. 社会人学生に対する配慮 開講日および時間帯は受講生と話し合いの上、調整、決定する。			
7. その他 オンデマンドは実施しない。			